

(別紙2)

令和6年度離島漁業再生事業交付金漁業集落实績報告

令和7年4月22日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：長崎県

市町村名：松浦市

島名：飛島

協定対象漁業集落名：飛島集落

協定参加世帯数：14世帯（22人）

（うち漁業世帯数：7世帯（15人））

2. 協定締結の経緯

漁業者の減少や高齢化が進んでいる現状にあって、このまま放置すれば、島の漁業は一層衰退し、水産業・漁村における多面的機能も失われていく課題を抱えているため、平均漁業所得を向上させ、漁業就業者数を維持することを目指して、関係者が一致協力して、離島漁業再生支援交付金による漁場の生産力の向上に関する取組と漁業の再生に関する実践的な取組を実施することとした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

水産資源の減少という状況のため、カサゴ2,200尾を放流して資源の回復を図ることとした。

また、藻場資源の減少という状況のため、ガンガゼ3,200個の駆除を実施し、ワカメ種糸を400m投入し、藻場の現状把握と回復を図ることとした。

また、産卵場所が減少しているという状況を踏まえ、イカやナマコ資源の産卵場・増殖場として、雑木を束ねた柴30基及び小型藻場礁（カルベースU）10基を設置した。

また、海底底質の悪化という状況のため、小型底曳き網漁船を主体とし、海底耕うんを実施して底質の改善を図ることとした。

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

市主催の藻場保全・ブルーカーボンに関する学習会に参加し、今後の磯焼け対策に関する情報収集を行った。また、漁場の状況把握として、海底質の検体調査を行った。

4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 3,435千円 ※1

漁業集落漁業就業者数 13人 ※2

カサゴ2,200尾を放流したことにより、水産資源の回復の向上が図られた。

また、ガンガゼ3,200個の駆除およびワカメ種糸の設置を実施したことにより、藻場の現状回復と向上が図られた。

また、雑木を束ねた柴30基及び小型藻場礁（カルベースU）10基を設置したことにより、イカやナマコの産卵場（増殖場）の増大が図られた。

また、海底耕うんを行ったことにより、底質の改善が図られた。

また、市主催の藻場保全・ブルーカーボンに関する学習会に参加し、今後の磯焼け対策に関する知見を得ることができた。

また、海底質の検体調査を行い、適性な漁場を把握し漁獲量の増加が図られた。

※1 及び※2 の記載は必須とする。交付金交付対象漁業者所得とは、交付金交付対象世帯の1人あたりの所得を平均したもの。

(注) 3 及び4 については、主な取組について写真や数字、グラフ、図などを用いて具体的なイメージが持てるようにすることとする。

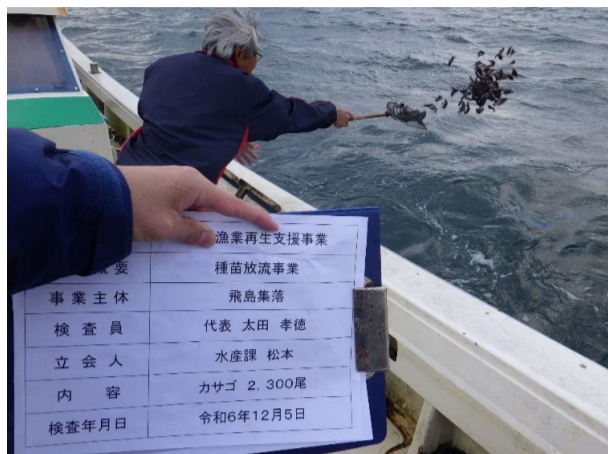
令和6年度 離島漁業再生事業交付金（松浦市）

（飛島集落）

1) 漁場の生産力の向上に関する取組状況

種苗放流

カサゴ放流



漁場の管理・改善

ガンガゼ駆除



漁場の管理・改善

ワカメ種系設置



漁場の管理・改善

ワカメ種系設置



産卵場・育成場の整備

小型藻場礁設置



産卵場・育成場の整備

柴設置



その他

海底耕耘



その他

海底耕耘

